

「北信地区 学校図書館教育研究会を終えて」(事業報告)

長水支部 加藤 善彦

1 研究テーマ

「ICT機器の活用を取り入れながら学習を進める、『学習センター』としての図書館の在り方」

2 公開授業・授業研究会

- (1) 長野市立松代中学校 1年国語 授業者 吉澤 英樹 教諭
「魅力的な伝え方をしよう～ビブリオバトル入門～」
- (2) 長野市立綿内小学校 5年総合 授業者 平出 彩紗子 教諭
「お米についての学びをまとめていこう」

3 講演

- (1) 会場 長野市立綿内小学校体育館
- (2) 講師 真珠 まりこ 先生(絵本作家)
- (3) 演題 「もったいないばあさんと考えよう世界のこと」

4 参加者人数

松代中学校公開授業・授業研究会	19名(会場校職員参観を除く)
綿内小学校公開授業・授業研究会	24名(会場校職員参観を除く)
講演会	48名

5 まとめ

- (1) 研究テーマを受け、松代中学校、綿内小学校共に図書館の本とタブレットを活用した授業を行った。松代中学校「国語」では前時行ったビブリオバトルの録画を見返す場面で、観点を定めて見返すことで、より相手に伝わる伝え方についてグループで考え合った。綿内小学校「総合」では、自分たちの米づくりについてグループごとの表現方法でまとめる場面で、図書館の本やタブレット(インターネット)を活用して、より相手に伝わりやすくなるように考え合った。どちらの会場でも、授業公開と研究会を通じて、本とデジタルの良さを生かしながら児童・生徒が主体的に学ぶ授業について、多くの示唆を得ることができた。
- (2) 講演会では著名な絵本作家 真珠まりこ先生を講師に依頼した。絵本の主人公である「もったいないばあさん」の姿を通して、「みんなが幸せに暮らせるために分け合う気持ちが大事」「一つ一つの命が大切なものでありつながっている」など、心に響くお話で、自分の住む町から世界へとつながる講演で、1時間半という時間があったという間に過ぎていった。講演会費用についてはコロナ禍のため、支部費に余裕があったため長水支部研修会を兼ねる形で、予算を捻出した。
- (3) 今年度は社会状況を鑑み、長水支部のみの案内とさせていただいた。(次年度開催支部の飯水から2名参加)当日まで開催が危ぶまれたが、開催することができた。そのため参加者は少なくなったが、充実した会となった。
- (4) 県立図書館より4名の方に、小中の授業から講演会まで参加していただき、学校図書館を活用した授業を参観していただくことで、貴重な情報交換の場となった。



松代中公開授業



綿内小公開授業



真珠先生講演会